投資者の皆様へ

2026年11月16日

商　　号　SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第311号
加入協会　一般社団法人資産運用業協会

「リキッド・トレンド」の魅力
― 株式市場の先行きが不透明な局面で、ポートフォリオの更なる分散を ―

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

世界の株式市場では、AI、半導体、データセンター企業の収益性への懸念等から不安定な相場展開が続いています。このような相場環境における選択肢の一つとして、株式をはじめとする伝統資産とは異なる収益特性を持つSBI-Manリキッド・トレンド・ファンド（以下「リキッド・トレンド」）を紹介いたします。

1. リキッド・トレンドの運用戦略

当ファンドはヘッジファンドの代表的なスタイルの一つである「トレンドフォロー」戦略に基づいて運用が行われています。その名が示す通り、市場が上昇トレンドでも下落トレンドでも、そのトレンドに追随（フォロー）して収益獲得を目指す戦略です。運用にあたっては、世界26の市場（債券・金利、通貨、株式、商品）に分散投資し、各市場の上昇トレンドでは先物・先渡し契約で買い持ち（ロング）ポジション、下落トレンドでは売り持ち（ショート）ポジションを構築することで、相場の方向を問わず収益機会を追求します(※)。こうした特性から、リキッド・トレンドの値動きは株式や債券とは異なる傾向があり、相関係数はゼロに近いことが知られています。そのため、仮に今後株式市場が下落局面に入った場合でも、リキッド・トレンドには株価下落の影響を受けにくい値動きが期待されます。

（※）市場にトレンドが形成されない（上下動を繰り返す）場合、トレンドの転換点では損失を出すことも考えられます。

リキッド・トレンドと株式・債券との相関係数

	リキッド・トレンド	日本株式	外国株式	世界国債
リキッド・トレンド	1.00	-0.08	-0.12	0.08
日本株式		1.00	0.67	0.28
外国株式			1.00	0.24
世界国債				1.00

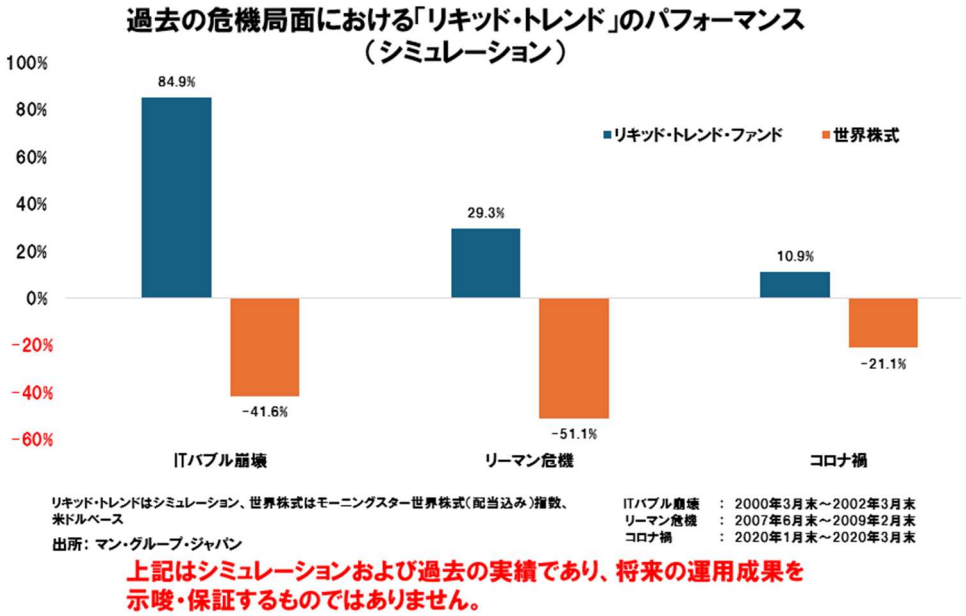
相関係数は「-1」と「1」の間で推移し、「1」は2つの資産価格が同じ方向に、「-1」は逆の方向に、「0」は無関係に動いたことを示します。
期間：2000年1月～2026年9月（月次）、米ドルベース、リキッド・トレンド：投資対象とする外国投資信託のシミュレーション(2024年9月以降は実績)、日本株式：モーニングスター日本株式配当込み指数、外国株式：モーニングスター先進国（除く日本）株式配当込み指数、世界国債：モーニングスター世界国債指数、出所：マン・グループ、Morningstar、SBIアセットマネジメント

リキッド・トレンドのシミュレーションは現在の運用モデルを過去の相場の動きにあてはめて算出したパフォーマンスです。
記載のデータはシミュレーション、過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでありません。

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 過去の株式市場の下落トレンドで強みを発揮した「リキッド・トレンド」

リキッド・トレンドが現在、使用している運用モデルを過去の相場の動きにあてはめたシミュレーションによれば、ITバブル崩壊、リーマン危機、コロナ危機など世界株式が大きく下落した局面でも、リキッド・トレンドはプラスのリターンとなりました。このことから、今後、株式市場が下落トレンドをたどる場合でも、リキッド・トレンドは相対的に良好なパフォーマンスをあげる可能性が高いと考えられます。



世界の株式市場の先行きは一段と不透明になってきました。過去の鉄道、インターネット等、新たな技術・インフラへの投資サイクルを振り返れば、これらの投資が永遠に拡大することはありませんでした。その設備やインフラは次の世代に引き継がれましたが、これらのバブルに踊った投資家の一部はあるタイミングで大きな損失を被ることになりました。将来のAI関連投資の急速な成長を織り込んだ株式市場が近い将来に大幅な調整局面を迎えると予想する参加者は、現時点では少数派です。しかし、株式を多めに保有されている投資家の皆様にとっては、株式市場が中長期的に下落トレンド入りする可能性に備えることも重要です。その観点から、リキッド・トレンドをお客様のポートフォリオの一部に組み入れることは、有効な選択肢の一つになると考えられます。

以上

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

（お買付時に直接ご負担いただく費用）

●お買付手数料　　上限 3.85%（税抜 3.5%）

（途中解約時に直接ご負担いただく費用）

●信託財産留保額　　上限　0.5%

（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））

●信託報酬　　上限 2.585%（税抜 2.35%）

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。
また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

≪ご注意≫

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

●投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
●投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
●投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
●銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。